

「イカ」の資源回復に向けて

南島原市では、漁業資源の回復に向けてイカの人工産卵施設を設置しています。近年、有明海の水質低下による漁場環境の悪化により海産物の水揚げが減少傾向にあります。そこで、産卵環境を確保することで生産量の増加と漁場の改善を図る活動をしています。

全国的に「磯焼け」問題が深刻化し、イカが産卵する海藻が減少しているため網・かご・イカ芝を設置し、人工的に産卵床を作ります。設置後、産卵状況を確認すると甲イカや水イカの卵が多く付着していました。

深江町



(網を使用)



(甲イカの卵)



(孵化前)



西有家町



(かごを使用)



(紋甲イカの卵)



(水イカの卵)



(甲イカの孵化後)